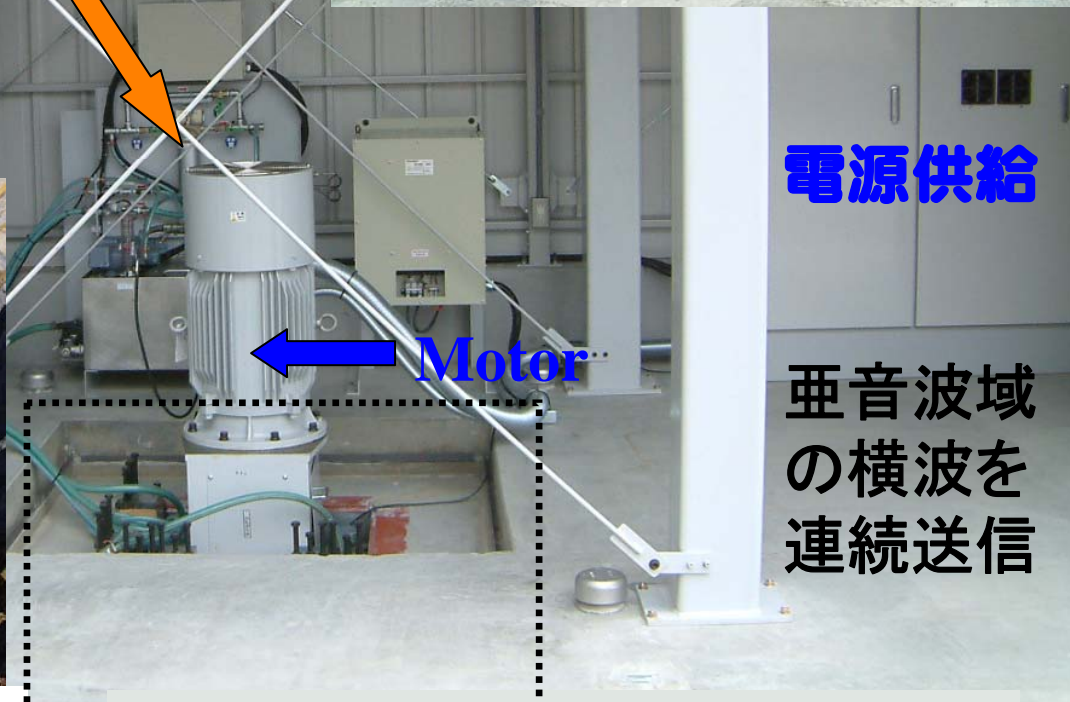
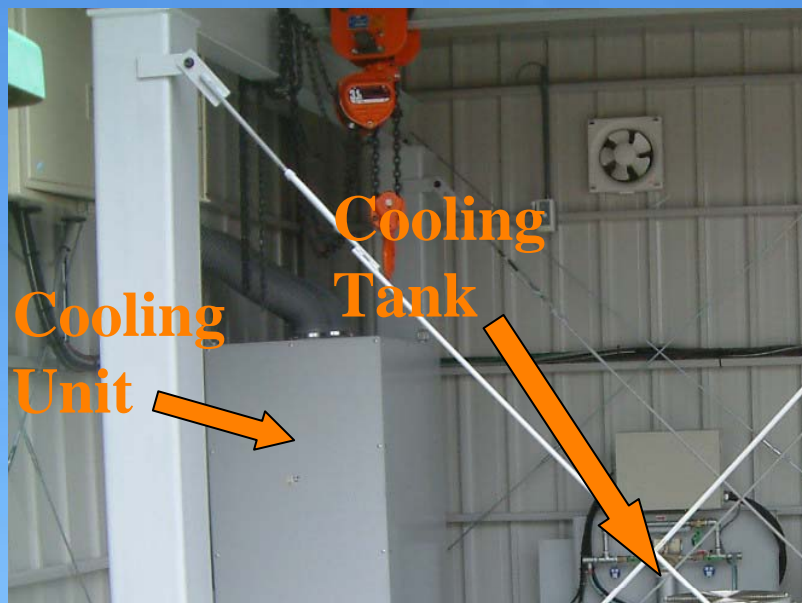


東海地震の震源域は今

～プレートの蠢きを探る最先端研究～

- ◆東海地域は、プレートの蠢きを捉える最適地
- ◆東海地域の観測網：<＝世界のタイプロカリティー
 - ・プレート境界の巨大地震の震源域
 - ・深部微動の変動とスロースリップは水の動きが原因
 - ・4年半続いたザ東海スロースリップはM~7.2相当!
 - ・地殻浅部の地震活動に注目(掛川直下の分岐断層?)
- ◆ノイズに打ち勝つ能動的観測で地下の蠢きを監視!
 - ・地震アクロス／電磁アクロスによる監視網

森町に新設したアクロス送信機



電源供給

亜音波域
の横波を
連続送信



基礎はできるだけ頑丈に作成

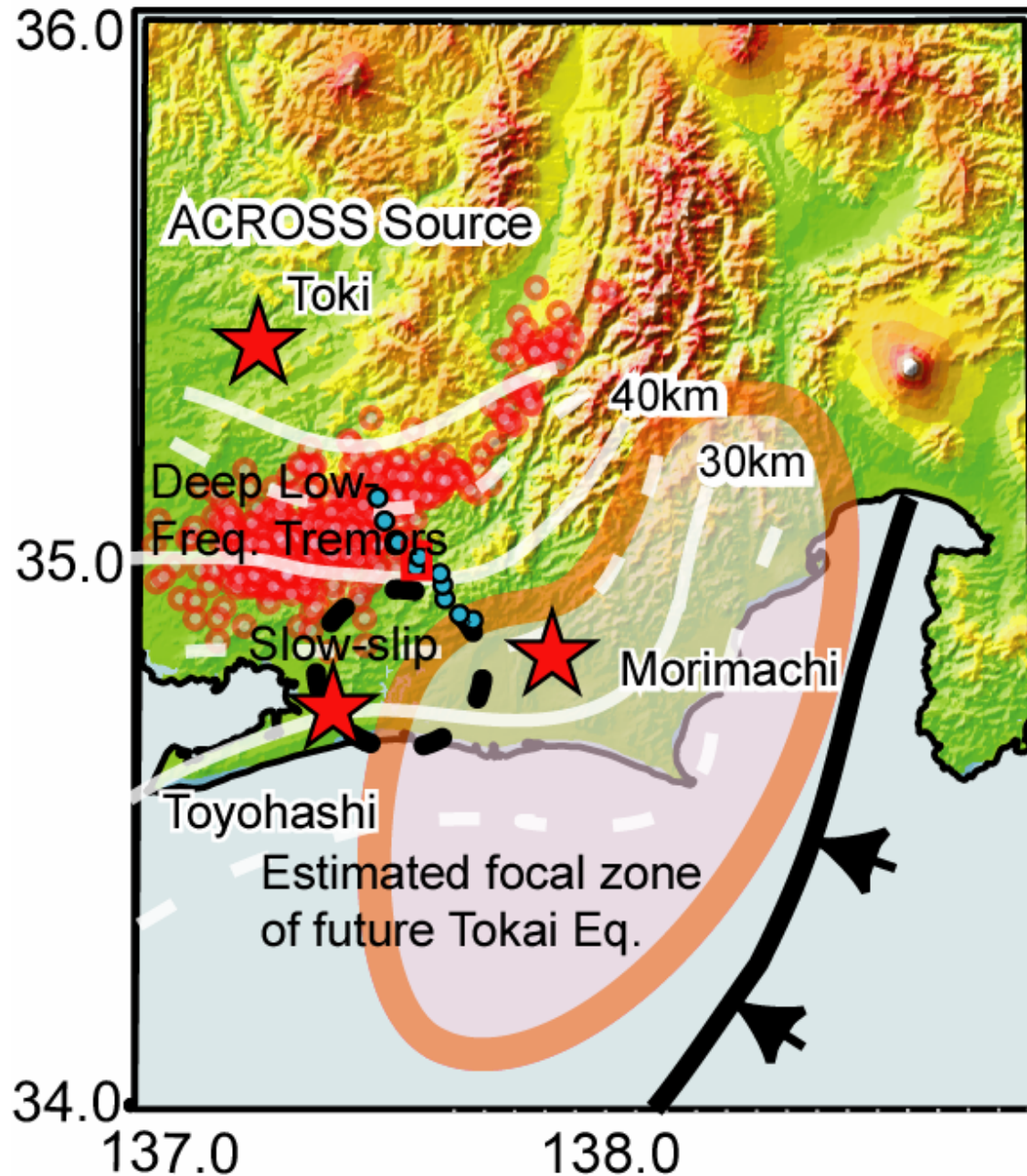
回転する偏心錘を地下の基礎に埋設

東海監視

★ 3カ所の震源から照射して地下監視

[東海アクロス震源群]

- 土岐 (JAEA)
 - 平成14年から連続運転
 - 平成17年度に地震計アレイを含む測線で10ヶ月の連続観測
- 森町 (気象研)
 - 平成18年度から送信開始
- 豊橋 (名大)
 - 震源アレイ
 - 平成18年度設置完了
 - 平成19年度送信開始



東海地域地下監視計画

